

### 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170500821		
法人名	医療法人 愛全会		
事業所名	グループホーム さんるーむ		
所在地	札幌市南区川沿13条13丁目3-10		
自己評価作成日	平成22年10月11日	評価結果市町村受理日	平成22年11月24日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/informationPublic.do?JCD=0170500821&amp;SCD=320">http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/informationPublic.do?JCD=0170500821&amp;SCD=320</a>
-------------	---

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人 福祉サービス評価機構Kネット
所在地	札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401号室
訪問調査日	平成22年10月28日

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

さんるーむ内の雰囲気や笑いの中に穏やかさが流れ、入居者の方々と私達職員と一緒に生活が出来ていると考えます。周りには公園やお店があり、緑豊かな環境に恵まれている為、四季を感じながらそれに触れながら生活して頂いていると考えています。二階にはデイサービスが併設されていて地域の方々が通われているため交流の機会が多く、週一度はインストラクターの指導の下に身体活性化体操に参加したり、ボランティアの方の踊りや民謡、落語、囲碁の場に参加したりバーベキューパーティー、ドライブ等一緒に楽しむ機会がたくさんあります。

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

市郊外の古くからの住宅地に建ち、スーパー・コンビニ・飲食店・商店街・公園も近く、交通の便も良い。前庭にはバードテーブルや花壇・菜園があり近隣住宅の庭も含め、四季の移り変わりを身近に楽しむことができる。テラスには椅子やテーブルが置かれ、暖かい日のお茶会や昼食・焼き肉パーティー等に利用されている。運営母体法人は多くの医療や介護サービス事業を展開しており、そこで培ったノウハウはサービスの質の向上と運営に活かされている。事業所内は自分らしく尊敬を持って暮らせるように配慮しており、各居室には洗面台や大型クローゼットが完備され、馴染みの家具や写真等が飾られ、これまでの生活習慣や暮らし方を尊重している。管理者や職員は笑顔と優しさで、利用者と共に過ごす時間を大切にしており、家族の信頼も厚い。近隣住民との交流も盛んで利用者の町内会行事の参加や、事業所の七夕祭りやクリスマス会・防災訓練にも近隣住民が参加し交流しており、保育園児の訪問もある。また定期的に開催している運営推進会議では、地域との交流や防災計画・事故報告を行ない業務の充実を図っている事は大変評価できる。今後も質の高いケアの実践と共に、今以上に地域住民から支援されるホームであるよう期待したい。

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します			
項目	取り組みの成果 該当するものに 印	項目	取り組みの成果 該当するものに 印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	一人一人の住み慣れた地域での交流の場を提供し、一人一人の意思及び人格を尊重し、心豊かに日々を送る事を大事にする事を理念に掲げ、日々の申し送り時やカンファレンス時に再確認しています。	地域密着型サービスの意義を理解し、事業所独自の理念『いのち輝いて今を幸せに』と、リビングに掲示している。会議や日々の申し送りで話し合い、ケアサービスに反映されているか確認している。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し公園などの清掃活動に参加しています。行事の際には地域の方々にも参加して頂く働きかけをしています。	町内会行事の新年会・アイスクャンドル作り・清掃に参加している。事業所主催の焼き肉パーティーや避難訓練には地域の人達が参加し、日常的に交流している。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	日々の生活の中での地域の方との交流の場や運営推進会議を通して認知症の方への理解を時間を掛けながら行っています。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度の運営推進会議の中で日常生活の様子、行事活動、事故報告をし、地域の代表者や民生委員、包括支援センター職員、そして他事業所の御家族、入居者の方に参加頂き、意見や要望を聞きカンファレンスを通しサービスの向上に向け努めています。また、消防署職員にも参加して頂きアドバイスを頂いています。	2ヶ月に1度、定期開催している運営推進会議では、利用者・家族代表・地域住民・消防署員・地域包括支援センター職員等が出席し、行事予定と報告・地域との交流・事故報告・防災計画等が話し合われ、事業所の運営に効果を上げている。議事録は整備し、利用者家族に送付している。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	管理者は札幌市や各区の連絡会議に出席し他事業所の方々との交流や情報交換を行いながらサービスの質の向上に努めています。また、市担当者に毎月の利用状況の報告を行っています。	グループホーム協議会・管理者連絡会議などに参加して情報を共有し、行政方針の理解に努めており、常に利用者本意のケアサービスに取り組んでいる。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての研修に参加し、学ぶ機会がありました。入居者様の意思を尊重し尊厳を持って接する事を常に心掛けています。玄関は日中は開放しており、入居者様やご家族にも自由に入出入りして頂いています。	夜間の数時間以外玄関は施錠していない。管理者と職員は鍵をかけることの弊害を理解し、外出傾向の利用者には、さりげなく見守り支援をしている。身体拘束や虐待に関するマニュアルは完備し、自由な生活を実践している。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職場内の研修に全員が参加し、学ぶ機会がありました。年間行事計画の中で法令順守に向けた取り組みの研修を行っています。職員は自己研磨と専門性の向上に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を活用している方がおられ、ご家族と共に担当弁護士に説明を受け、日常発生する疑問点等も含め御本人が安心して変わらず生活して頂けるよう努めています。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書に沿って1ページ1ページ説明させて頂き、入居者やご家族の不安や疑問点をお聞きして、理解して頂けることに努めています。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日々の生活の中で行動、言動、表情により、その方の思いをくみ取る努力をし、カンファレンスや、申し送りで情報交換を行い、ケアプランに反映し、又、見学者、運営推進会議の席にも入居者の方々に参加して頂き、思いを表現して頂けるよう努めています。	意見が出やすいように苦情箱を設置しており、利用者家族とのコミュニケーションを大切にし、来訪時の会話の中から意見要望を聞いている。年一度実施する無記名の家族アンケート結果は、事業所の運営に効果を上げている。	
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	GH事業室中心に月一回管理者が集まり意見交換、情報交換を行って問題点については迅速に解決し、サービス向上に努め、年2回自己申告書により、職員の意見や提案を聞く機会があります。	管理者は日常の業務を通じ、積極的に職員の意見等を聞き、運営に反映している。さらに充実したケアサービスを提供するために、業務の流れに沿った申し送りを、随時行なっている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回の自己申告書で個々の努力等を述べる機会があり、面接も併せて行います。資格取得後は資格手当が支給され、向上心を持って働けるように努めています。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間に行われる外部研修の情報を収集し、内部研修の年間計画を立て、職員の段階に応じて多くの職員が受講出来るようにしています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	年2回職員が交流する機会を作っています。また、相互に訪問しあったり、同じ催しに複数の事業室が参加することで、交流を深める事に取り組んでいます。研修会等ではグループワークを通じ職員同士が親睦を深め、サービスの質の向上に向けて取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にご本人に会ってお話を伺ったり、ご家族から情報を頂いたりとお話する機会を作らせて頂く中で気持ちを受け止められるように努めています。			
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	これまでのご苦労、困っている事、不安に思っていること等話していただけるよう、職員、エリアマネージャーと相談しながらご家族の思っている事、望んでいる事に取り組んでいくよう努めています。			
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	早急な取り組みが必要と思われる相談者には柔軟な対応をするために他の事業者のサービス利用も含めた対応に努めています。			
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の生活の中で人生を歩んでこられ、得た知識を教えて頂くことばかりです。残された知識、力を大切にし、感謝の気持ちを伝える事で、自信を持たれさらに心身の活性化に繋げて行けるように努めています。			
19		本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族の方も一緒に参加出来る行事を計画したり、訪問時に日々の様子をお伝えし変化のある時は連絡をさせて頂いたり、毎月通信を発行しご家族と入居者様のパイプ役になるよう努めています。			
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族や、友人、知人の来訪時にはゆっくりお部屋で過ごして頂いています。電話でもお好きな時間にお話されており、これからも途切れないよう努めていきます。	これまでの人間関係や、馴染みの場所との関係が継続できる様に支援しており、誕生日にはレストランで食事をしたり、家族同伴で墓参りに行っている。		
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ゲームや、お手伝いを通して入居者同士が協力しあったり、アドバイスされたり、やさしさを見る事ができます。体操やティータイムにはテーブルを囲みゆっくりお話を楽しむ時間があります。職員も一緒に席に入り関わりあう事に努めています。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	医療施設に入院されても入居者様と一緒にお見舞いに行き、馴染みの関係を継続する様に努めています。また、退去後もサービスが途切れないよう各関係機関との連携を図っています。		
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	必要に応じてケアプランの見直しを行っています。日々の生活の中でご本人の希望、意向を十分に把握し、それに沿ったケアに努めています。意思表示が難しい方へはご本人の立場を考えながら、表情や仕草の中から気持ちを汲み取る様努めています。	センター方式を活用し、家族から得た情報や日頃の行動・表情、過去の生活歴を基に個々の思いや暮らし方の希望や意向を汲み取り、職員間で情報の共有をしている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族、ご本人からの情報を集めたり日々会話の中から生活歴、環境、交友関係等を探りケアに役立てています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	常に入居者さま9名の所在を確認し心身の状態の変化を見逃さず職員全員で情報共有し、申し送りやカンファレンスを重視しています。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	3ヶ月、半年毎の評価とモニタリングを職員全員で行いケアのあり方を話し合っています。ご本人、ご家族様の要望を聞きながら入居者様がその方らしい生活が出来るようお手伝いするケアプランを作成しています。	定期的な見直しは3カ月毎に行い、身体の変化や本人・家族の要望を取り入れ随時見直しを行っている。医師、看護師とは連絡を密にし、現状に即した介護計画を作成している。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々のケアの気づきや工夫の実践は情報共有し、実践し、結果をカンファレンスし日々のケアや介護計画の見直しに活かしています。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	受診の代行、買い物の代行など柔軟な支援をしています。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近所の方や町内会との日々の交流を図ることで催し物や活動にも積極的に参加出来る様支援しています。		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	週1回看護師による健康管理パウチ交換、ドクタ-により点滴と、月2回の主治医の訪問診察により馴染みの関係が出来ており、個人の思いにも対応出来ています。緊急時の24時間対応もできています。	週に1度の訪問看護師による健康管理、2週に1度の協力病院医師の訪問診療、医師・看護師とは24時間連絡がつく。また個々の病状に合わせた医療機関を、受診できるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の看護師の訪問で入居者の方の健康状態の報告、相談を行っています。24時間体制で対応し、医師や他の医療機関とのパイプ役となっただけです。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関の相談員と連携しながら、ご家族からの情報やご本人との面会を行い、早期退院に向け話し合いを行っています。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご本人、ご家族の意向を把握し、出来る限りの支援をご家族の協力を得ながら取り組んでいます。	医療連携体制の下、『重度化した場合における対応に係る指針』を作成している。入居時から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ができることを説明している。運営母体が医療法人なので安心感が高い。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	日々の緊急時のマニュアル等の熟読と内外の実践研修等で、身に付けています。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時の応援体制は、整っています。避難訓練も年2回定期的に行い地域の方の協力体制も築いています。毎日、防火点検チェック表をつけ火災を出さない取り組みをしています。	年2回消防署の協力の下、利用者や近隣住民と共に避難訓練を行っている。消防署員は運営推進会議にも出席しており、缶詰や飲料水等の食料品の備蓄もしている。	
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員間の申し送りは場所を選びプライバシーをまもります。人生の先輩に対する尊敬の念を持って日々のケアにつとめています。	利用者の、プライドや羞恥心を大切にされた対応をしている。個人情報保護に関する基本方針は重要事項説明書に明記している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人が全て決定して思いや希望も表現出来るような場面作り、一緒に考えたりサインを見逃さないよう努めています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床、食事、入浴、レクリエーション等一人一人のペース、体調、思いに沿って支援しています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洋服選び、身支度は、ご本人が自由に選び一緒に買い物へ行ったり、ご家族の協力を得ながら支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の時間が楽しみになるように好みや食べやすい工夫したり、準備や後片付けを入居者様と職員とで一緒に行っています。	利用者と共に調理・配膳・後片付け等を行い、職員も同じ食卓に着き、会話を楽しみながらゆっくり食事が出来るように支援している。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の生活習慣の上に栄養バランスと水分量が十分に摂取できるように支援しています。水分量、食事はチェックして記録しています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアの充実のために定期的な歯科の訪問診察を受けたり、日々の歯磨き、義歯のケアを支援しています。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人一人の排泄パターンや習慣を考慮しトイレでの排泄や自立に向けて支援しています。	一人ひとりの排泄パターンを把握し、周りの人に気づかれない様に、さりげなくトイレ誘導している。個室のトイレは清潔で、使いやすい整備されている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の排便状況の把握と、運動や十分な水分量、食事の工夫等、予防に取り組んでいます。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入居者様がリラックスして楽しめるよう一人一人の思いや希望に沿って支援しています。	一人ひとりの希望や体調に合わせた入浴支援をし、リラックスして入浴できるように支援している。希望があれば毎日入浴できる。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の体調、習慣をもとに安心して休める環境を提供しています。入床や起床の無理強いをせず、夜間ぐっすり眠ることが出来るよう体操や外気浴など日中の活動を通して生活リズムが整うよう配慮しています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の薬についての知識を深め、服薬の支援と症状の変化に注意し観察に努めています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人の楽しみや喜びを把握し毎日の暮らしの中に生活歴を生かした役割を見出せるように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ホーム周辺を散歩したり、テラスや畑へ自由に出入りして、気分転換して頂いています。外出希望時は、見守り、同行させて頂き安全に出かけられるよう支援しています。	日常的に散歩や買い物に出掛けている。自然に屋外へ出掛けられるように、外出行事が年間計画の中に多数盛り込まれている。広い庭には花畑や菜園・バードテーブルがあり、利用者が気楽に屋外に出られるように配慮している。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	近所のス・パ・やコンビニで御自分の食べたい物を選んで購入して頂いています。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望時はいつでも利用して頂いています。御自分で出来ない方へは職員が取り次ぎをお手伝いしています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	テレビや音楽の音量は皆さんで相談しながら調節します。季節の花や壁飾りなどで、季節感を出し、居心地の良い空間作りを努めています。	玄関・居間・キッチン・浴室・廊下等は広くゆったりとした造りになっており、温度・湿度に気を配り快適な居住空間を作っている。テラスにはイスやテーブルが置かれ、日光浴や暖かい日の昼食・ティータイムに利用されている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間にはテーブルやソファがあり、それぞれにくつろいで過ごしています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具やテレビ冷蔵庫、写真や人形等それぞれに持ち込まれ、安心して過ごして頂けるよう配慮しています。	居室には洗面台・クローゼットがあり、各家庭から馴染みの家具やテレビ等を持参し、家族写真や思い出の品が飾られ清掃もいき届き、居心地良く過ごせるよう配慮されている。トイレ付居室もある。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	得意な事や残された力を生かしていける様職員一同心がけています。廊下やトイレ、お風呂には、手摺りを設置し、お一人での移動が安全に出来るよう配慮しています。		